

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和 7 年 3 月定例会	
議案番号 議案名	議案第 6 4 号 令和 7 年度松戸市一般会計予算
議員名・会派名等	立憲民主党
賛否態度	反対
賛否など態度決定 に至った理由や 討論	議案第 64 号、令和 7 年度 松戸市一般会計予算について 予算審査では、大型開発事業が次々に計画されている本市において、主な大型事業の進め方、公共性、市民への情報公開度（透明性）、長期的に見て市の財政にどのような影響があるのか。また、市民の人権が守られているのか、等を確認しました。 一般会計予算のうち、認め難い 2 つの予算への反対理由を述べます。 1 つ目、新庁舎整備基本計画策定委託料 4、664 万円についてです。 質疑では庁舎整備検討委員会への諮問内容を改めて尋ねました。 1 月 2 7 日の庁舎整備検討委員会では、第 2 ステップまでの想定が固まっていないことに多くの委員から意見が出て、この進め方について非常に困惑しました。諮問事項は「市役所機能段階的整備案」第 1 ステップに基づき、建築場所に対応した施設の規模感や、建物内部の配置案、事業手法や概算事業費、スケジュールなどを明らかにし、具体的な設計の指針を示すこと、ということは理解しましたが、最終形を考えるのは、事業費の概算を検討する上でも当然です。しかし、質疑をしても進め方についての疑問は解消できませんでした。 一方、市庁舎の建て替えについて、令和 5 年に策定され

た「市役所機能再編整備基本構想の改案」には現地での建て替えと、移転建て替えとの比較が含まれており、それは踏襲されていると執行部自身が認めているにも関わらず、ご答弁は「次の基本計画に、現地建て替えを改めて検討する考えは持ち合わせていない」と、全く議論の余地がありません。移転条例も出されず、市庁舎は正式に移転建て替えに決まっていらないはずなのに、すでに決まったこととなっています。この進め方は、議会はもちろん、市民を欺く行為です。

次に、現地建て替えができない技術的な理由を尋ねましたが、こちらは明らかにされませんでした。よって、技術的な理由は無いと判断し、移転建て替えは、政治的な理由と受け止めました。

次に2つ目、土地区画整理関係業務のうち常磐線快速列車 新松戸駅停車資料作成委託料 984 万 4,000 円についてです。

本事業はそもそも JR の事業ですが、市は、これまでに数回、すでに約 1 億円に上る税金を使って調査や資料作成をしています。にも関わらず、ほとんどその内容も成果も示されていません。それなのに、さらに次の資料作成料を求めるなど、到底認めることはできません。

歳入では、市税の収入は微増、貯金は減少、借金は増える予想であること。物価高騰等の現状を踏まえた上で、今後の投資的経費がいくら必要かを算出し、財政調整基金の目標額を設定し計画的に積み上げるべきではないか？との DELI 議員からの問いに対し、現状では今後の見通しが不透明であることが示されました。

本市で計画されている大型事業の概算費用がことごとく明らかにならないことが財政の見通しを不透明にさせていると思われます。将来への不安しか感じられません。

以上のように、一般会計予算のうち、反対理由を述べた2つの事業の予算は認め難く、政策実現フォーラム・社民と立憲民主党の両会派はこれらの削除修正を提案しまし

	たが、残念ながら否決されました。原案には、評価できる事業等多々ありますが、大型事業における今後の財政への影響、計画や公開度の不透明さを鑑みると、反対せざるを得ないとの考えに至り、原案にも反対とします。
--	---